

100 X 200 Mm 加熱式ラボ用圧延機

バッテリー電極用デュアルローラーマシン（独立温度調整機能付き、最大200℃）

商品番号: DG13



前書き

100 x 200 mm

加熱式ラボ用圧延機。独立して温度調整可能なデュアルローラー（最大200℃）、5トンの圧力、0～3 mmのギャップ調整、可変速度機能を備え、リチウム電池電極の緻密化や精密材料研究に世界中で使用されています。

[詳細を学ぶ](#)

用途	説明	主な利点
リチウムイオン電池電極のカレンダー加工	コーティングされたリチウム電池電極シートを圧延し、ラボ開発中に厚みを減らし密度を高めます。	研究およびパイロットラインのプロセス研究に向けた、制御された電極緻密化をサポート。
クリーンエネルギー材料開発	コーティングおよび乾燥後のクリーンエネルギー材料研究に使用されるリチウム電池プレートを処理します。	調整可能なギャップ、圧力、速度、熱を組み合わせ、パラメータ重視の開発作業を可能にします。
大学の電池研究	電極処理やセル製造ワークフローを研究する学術研究室向けの実用的な圧延プラットフォームを提供します。	単相220V電源と、実験スケールのサンプルに適したコンパクトな200 mmの作業幅を使用。
企業のパイロットライン試験	より広範な製造決定を下す前に、電極圧延条件の小規模な検証をサポートします。	独立して調整可能なローラー温度と可変ライン速度により、再現性のある試験が可能。
銅箔およびストリップの圧延	研究環境において、少量の銅やその他の非鉄材料の手動圧延を行います。	0-3 mmの調整可能なギャップと硬化ローラーにより、柔軟なシート厚処理を提供。
アルミニウム材料の試験	制御された減少が必要なアルミニウム材料サンプルのラボ圧延をサポートします。	水平ローラー配置により、直接的で観察可能な手動供給経路を提供。
貴金属サンプルの処理	金、銀、および関連する貴金属研究材料の小ロットを圧延します。	最大5トンの圧力で、制御された機械的減少を実現。
先端材料の緻密化	制御された圧縮を必要とする材料シートに対し、熱アシスト圧延条件を評価します。	独立制御されたローラー温度により、各ローラーのプロセス温度を調整可能。

パラメータ	仕様
サイト識別子	DG13
装置タイプ	小型リチウム電池電極シート圧延用加熱式ラボ用圧延機
電源および電力	220V, 4.5KW
ローラー温度	~200℃

パラメータ	仕様
デュアルローラー温度制御	2つのローラーの温度を独立して制御し、任意に調整可能
ローラー寸法	Φ100mm x 200mm
ローラー配置	水平ローラー配置
重量	110KG
ローラー表面硬度	HRC62
ローラー真円度	≤±2μm
ローラー材質	輸入9CR2MO鋼
供給ローラー温度許容差表記	200°C±10μm
有効ギャップ	0-3mm調整可能；視覚的ダイヤルインジケーター
作業速度	無段階変速；ライン速度0-4.0 m/minで調整可能
ローラー表面仕上げ	提供された参照資料には記載なし
最大作業幅	200mm
ローラー表面硬化深さ	5mm
最大圧力	5T